

---

## News Release

---

平成 18 年 5 月 29 日  
ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社  
代表取締役社長 山口浩行  
(コード番号:3390)  
問合せ先 取締役管理部長 大菅伸弘  
電話番号 03-3568-1305

# Security Data Box

## ユニバーサルソリューションシステムズ 「Security Data Box」を 6 月 20 日から正式サービス開始

～ 2008 年日本版 SOX 法を見据えたデータセキュリティソリューション ～

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社( ジャスダック 3390、本社:東京都港区、代表取締役社長:山口浩行 )は、平成 18 年 3 月 29 日に発表いたしましたデータセキュリティソリューション事業(製品名 **Security Data Box**)を 6 月 20 日より正式にサービス開始することに決定いたしました。(5 月よりプレセールスを開始しており、既に 1 部上場企業を含む数社から受注済みです。)

「**Security Data Box**」は複数の大学間で遺伝子情報をインターネット上で安全に共有するために、開発したセキュリティー手順(特許出願中:特許公開 2005-142927)がベーステクノロジーとなっております。

今回、ユニバーサルソリューションシステムズではこのベーステクノロジーを応用し、昨今問題となっております Winny やパソコン紛失、内部流出などに代表される情報漏洩問題に対するセキュリティーソリューションとして「**Security Data Box**」を開発、実用化いたしました。

### — 事業化の背景 —

#### ① 表面化する様々な情報漏洩問題

大問題となった Winny を始めとする情報漏洩問題が毎日のように報道される現在、パソコンに保存されている文書ファイル、表計算ファイル、画像ファイルなどは絶えず盗難、ハッキング、内部流出などの脅威にさらされています。

#### ② 日本版 SOX 法の施行

2008 年施行予定の日本版 SOX 法では、会計データなどはもちろんのこと、重要な文書ファイルや、表計算ファイルなどに対しても、確実なトレーサビリティが求められる見込みです。

「**Security Data Box**」は外部の脅威に対するディフェンス、内部の脅威に対するディフェンスを実

現しながら、さらにユーザビリティを追求し、利用者は万全のセキュリティに守られて、職場で、外出先で、出張先で安心して重要なファイルにアクセスすることができます。

## — Security Data Box の特徴 ～ 2Defense and Usability ～ —

### 1. 【外部の攻撃に対するディフェンス】

ユーザーは重要な文書ファイル、表計算ファイルなどをインターネットを通じて、ユニバーサルソリューションシステムズが管理運営する「Security Data Box」に保存、利用します。

「Security Data Box」は世界最高水準のデータセンターに構築されており、地震その他の災害に対して極めて高い安全性を確保しております。

また、ユーザーのデータは契約企業ごとに異なった暗号化キーで保存されておりますが、このキーを入手する為には、全く別の場所にある認証局に保存されているキーと、ユーザーが持つキーの2つが必要となります。この3つのキーの存在により、「Security Data Box」は外部からの不正アクセスに対して極めて高い安全性を実現いたしました。

さらに、インターネット上のデータ伝送にはその都度キーが変更になるワンタイムキー方式の暗号化を採用、データ伝送途中の脅威に対しても高い安全性を誇ります。

### 2. 【内部の不正に対するディフェンス】

「Security Data Box」のファイルにアクセスするためには、利用するパソコンで「Security Data Box」のエージェントプログラムが起動している必要があります。このエージェントプログラムはユーザーによるファイルのコピー、プリントアウト、ハードコピーなどの内部の不正につながるイベントを全て監視、記録し、データセンターに保存します。

これにより、企業は今まで管理できなかった内部による不正に対して高い抑止効果と、万が一の場合の確実なトレーサビリティを実現しています。

### 3. 【優れたユーザビリティ】

「Security Data Box」の利用に際してはまず認証センターに対して指紋認証を行います。

ユーザーは認証センターから認証を受けると、外部ハードディスクを利用するイメージでファイルを操作できます。

また、圧縮ファイルを解凍する際、ローカルディスクドライブにファイルが展開されるリスクを避けるため、「Security Data Box」に保存するファイルは全て自動的に1/5～1/20程度に圧縮されます。※1

これによりユーザーは保存領域を意識せずに有効に利用する事ができます。

このように「Security Data Box」は最高水準の安全性を実現しながらも、極めて高いユーザビリティを実装しています。

※1 ファイルによって圧縮率は異なります

「Security Data Box」はユニバーサルソリューションシステムズが提供するソリューションシステムアウトソーシングの新しい形態です。これまで、多くのお客様のデータをお預かりし、安全に運用してきたノウハウをもとに、お客様の安全を究極まで追求した結果生み出された、大切なデータ資産を守る新概念のデータストレージサービスです。

なお、本事業開始による業績予想への影響につきましては現時点で未定です。

詳しい内容はこちらをご覧ください。

[http://www.u-s-systems.com/ir/ir\\_top.html](http://www.u-s-systems.com/ir/ir_top.html)

### お問い合わせ先

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社  
〒107-6017 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 17 階

広報窓口 TEL:03-3568-1381 FAX:03-3568-1339  
[e-Mail:iradmin@u-s-systems.co.jp](mailto:iradmin@u-s-systems.co.jp)

**Security Data Box** 窓口  
URL:[www.sdatabox.com](http://www.sdatabox.com)  
[e-Mail:sales@sdatabox.com](mailto:sales@sdatabox.com)

以 上